

**[成果情報名]短稈・良食味・高品質の水稲新品種「山形112号」の採用**

[要約]「山形112号」は、“中生の晩”の粳品種であり、収量、品質は「はえぬき」にやや優る。食味は「はえぬき」に優り、短稈で耐倒伏性に優れ、奨励品種として採用される。

[キーワード]イネ、山形112号、短稈、良食味、高品質

[担当]山形県農業総合研究センター・土地利用型作物部、山形県農業総合研究センター水田農業試験場・水稲部

[代表連絡先]電話 023-647-3500

[区分]東北農業・稲（稲品種）

[分類]普及成果情報

---

**[背景・ねらい]**

全国の米の消費量が毎年減少する傾向にある中で、平成30年以降の新たな米政策開始を見据え、本県では全国トップブランドを目指す「つや姫」に続く、新品種の普及が求められている。「つや姫」は晩生、耐冷性が“中”という品種特性もあり、特に「つや姫」より広く栽培可能な高品質良食味の品種が必要である。

**[成果の内容・特徴]**

1. 「山形112号」は、出穂期は「はえぬき」並、成熟期は「はえぬき」より1日遅い（表1）。
2. 稈長は「はえぬき」より短く、穂長は「はえぬき」並である。穂数は「はえぬき」より多い。倒伏は見られない（表1）。
3. 収量は「はえぬき」にやや優り、千粒重は「はえぬき」より2g程度重い。玄米品質は「はえぬき」並からやや優る。高温だった2010年の品質を比較すると、「はえぬき」は品質低下が見られたが「山形112号」は品質を維持している（表1、図1、図2）。
4. 食味官能試験の結果から、外観、光沢、白さが優れ、総合においても「はえぬき」に優る（表2）。
5. 以上のことから、「山形112号」は、良質・良食味の特徴を持つ“中生の晩”の粳品種として2015年から山形県の奨励品種（優良品種）として採用される。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及対象：山形県内の生産者
2. 普及予定地域・普及予定面積：山形県内平坦地域・一般作付け初年目 2,000ha。
3. その他：短稈で倒伏しにくい、良質・良食味米の生産のため、多肥栽培を避ける。

[具体的データ]

表1 山形県内における水稲奨励品種決定調査成績(2009～2013年)

供試年次	場所	品種・系統	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 0-4	玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)	品質 1-9
2010～	河北町	山形112号	8.05	9.18	72.9	17.7	549	0	67.1	23.7	3
2012	(村山平垣西部)	はえぬき	8.05	9.18	75.8	17.4	539	0	64.6	21.7	4
2010～	川西町	山形112号	8.08	9.19	62.8	17.1	384	0	46.5	24.4	3
2012	(置賜平垣東部)	はえぬき	8.08	9.18	67.4	18.0	381	0	47.1	22.8	3
2010～	長井市	山形112号	8.04	9.13	64.3	16.8	585	0	63.1	23.7	3
2012	(置賜平垣西部)	はえぬき	8.03	9.13	66.2	17.1	545	0	58.5	21.9	4
2010～	鶴岡市	山形112号	8.04	9.13	65.5	17.7	513	0	58.0	24.4	3
2013	(庄内平垣南部)	はえぬき	8.04	9.12	68.6	18.2	484	0	59.8	22.5	4
2010～	酒田市	山形112号	8.05	9.14	70.7	17.9	539	0	60.7	23.8	2
2013	(庄内平垣北部)	はえぬき	8.04	9.12	72.1	17.9	489	0	57.2	22.0	2
2009～	農総研セ	山形112号	8.05	9.13	72.8	18.0	470	0	58.9	23.6	3
2013	山形市	はえぬき	8.04	9.12	74.7	18.3	438	0	57.1	21.9	3
2009～	水田農試	山形112号	8.05	9.14	66.4	17.6	555	0	61.1	24.4	3
2013	鶴岡市	はえぬき	8.04	9.13	69.3	17.6	508	0	60.4	22.4	3
全県平均		山形112号	8.05	9.15	67.9	17.5	514	0	59.3	24.0	3
		はえぬき	8.05	9.14	70.6	17.8	483	0	57.8	22.2	3

注1)各所各期間の調査結果を平均で示した。注2)倒伏は0(無倒伏)～4(完全倒伏)で評価した。注3)品質は1(1上)～9(3下)で評価した。

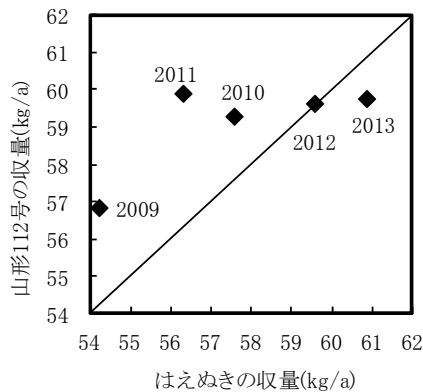


図1 収量の比較  
(水稲奨励品種決定調査 2009～2013年)

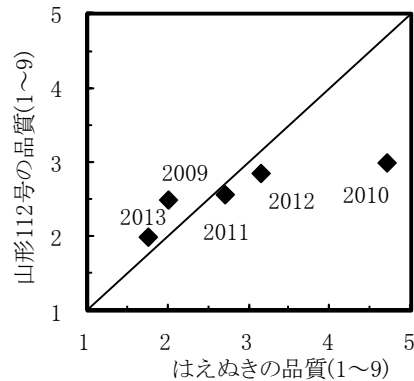


図2 品質の比較  
(水稲奨励品種決定調査 2009～2013年)  
注)1(1上)～9(3下)で評価した。

表2 食味官能試験結果 (2009～2013年)

実施場所	供試年次	総合	外観	光沢	白さ	香り	味	粘り	硬さ
農総研セ	2009	0.03	0.26*	-	-	0.00	0.12	-0.06	0.29*
	2010	-0.05	0.25	-	-	-0.05	0.00	0.10	0.30*
	2011	0.15	0.48**	-	-	0.07	0.30*	0.04	0.07
	2012	0.29*	0.51**	-	-	0.14	0.23*	0.40*	-0.37*
	2013	0.32*	0.36*	-	-	0.09	0.18	0.27*	0.00
水田農試	2009	0.05	0.30*	0.40**	-	0.05	-0.15	0.30	-0.05
	2010	0.42**	0.63**	0.50**	0.58**	0.00	0.38*	0.33*	0.38*
	2011	0.38*	0.54*	0.42*	0.58*	0.04	0.17	0.42*	0.08
	2012	0.20	0.10	0.20	0.10	-0.05	0.10	0.15	0.15
	2013	0.45*	0.40*	0.25*	0.30*	0.15*	0.35*	-0.05	-0.05

注1)基準米は水田農試産「はえぬき」で統一し、各場所において実施した。

注2)基準米を0として-3～+3で評価し、平均値を示した。

注3)\*\*、\*はそれぞれ1%、5%水準で基準と有意差があることを示す。

(山形県農業総合研究センター)

[その他]

研究課題名：水稲・畑作物奨励品種決定調査

予算区分：県単

研究期間：2009～2015年度

研究担当者：伊藤真智子、今野悟、大江泰弘、阿部洋平、中場勝、松田晃、安藤正

発表論文等：なし